

■■■  
(2016年2月号)

「学校に行こう。出席率倍増作戦」

=JKM (JICAナレッジマネジメント) 日本語教育分野メルマガ=

■■■  
★ABOUT★

JKM (JICA ナレッジマネジメント) 日本語教育分野メルマガは、途上国で日本語教育に取り組んでいる、あるいは途上国での日本語教育に関心をお持ちの皆様を中心に日本語教育関連情報を提供することを目的としています。皆様のご関心のあるテーマをできる限り取り上げていきたいと考えておりますので、授業に使えるアイスブレイキングや「日本語教師(教育)あるある」などの情報をどしどしお寄せください！日本語教育にご関心のある方々への転送を歓迎します。

■□  
=今月号のコンテンツ=

トピック

1. JICA日本語教育ボランティア関連
2. JICAナレッジサイト(日本語教育分野)更新情報
3. 日本語教育・日本語教育関連サイト、ニュース
4. 技術顧問コラム

編集後記

■□  
<トピック>

「生徒の出席率が悪い。遅刻が多い！叱っても変わらないし一体どうしたらよいか…」ボランティアの皆さん、活動中こんなことを感じていませんか？生徒のみんなに「行きたい」と思われるアイデアを紹介します！

▼児童向け

○シール大作戦

→シール手帳を作り、出席1回に対し1枚シールを貼っていく。

※シール手帳とは…

幼稚園やピアノ教室などで使われている出席手帳のようなイメージです。木(りんご、みかんなど)や、昆虫(てんとう虫など)の絵を描き、シールを木の実や昆虫の模様に見立て貼っていき、目標を達成するとききれいな絵が完成するようにします。てんとう虫などのぬり絵を教室の壁に掲示して、目標が達成するごとに色を塗っていくのも「成果が目に見える」という点で生徒のやる気を刺激する効果がありました(0V談)。

○これは失敗…。

→宿題を増やす(逆効果)、厳しく叱る(どンドン教室から足が遠のきます)

▼大学向け：卒業単位として認められる大学日本語コースの事例

○Solution 1

出席に関する大学の規則(75%以上の出席)を繰り返し共有する。チラシを作り教室に掲示したり、オンラインの情報共有システム上にお知らせとして個人名を伏せて学生ID、出席すべき授業時間、出席した時間数とパーセンテージを具体的な数字で示し、問題がある学生は色で示しアップロードするなどする。

### ○Solution 2

出席を徹底的に管理する。単位を落とすなど、手遅れにならないよう、数週間ごとに出席状況を大学専用オンラインページにアップロードし情報を共有するとともに、個別に出席や補講を促す。

→この活動をきっかけに、出席が足りている学生も100%にしたいという思いから補講に来るケースが見られたのは意外な副産物でした。

### ○Solution 3

他授業との兼ね合いで時間が取れない学生には個別に対応し、コンサルテーションの時間を増やす。(大学規定では2時間だが、+1時間から+2時間にした時期もある。)

事例提供：田村阿弥さん／ジャマイカ派遣日本語教師OV

※オンライン情報共有システムがない方も多いと思いますが、講義室に出席情報(個人名を除く)を掲示するなどしても良いかもしれません。(メルマガ担当者より)

## 1. JICA日本語教育ボランティア関連

### 【JICAボランティアの世界日記】活動紹介ブログ

#### ■阿部 響子(山形県出身／タイ／日本語教育)

『タイ南部から発信！トランダより』

1/14更新「世界日記はじめます！」

[http://world-diary.jica.go.jp/k-abe/life/post\\_2.php](http://world-diary.jica.go.jp/k-abe/life/post_2.php)

#### ■佐賀 直子さん(ブラジル／日系日本語学校教師)

『思いっきりやっごらん！』

1/13更新「クリスマスとお正月」

[http://world-diary.jica.go.jp/sakamoto/culture/post\\_17.php](http://world-diary.jica.go.jp/sakamoto/culture/post_17.php)

## 2. JICAナレッジサイト(日本語教育分野)更新情報

### ▼日本語教育ボランティアの派遣累計及び派遣中人数、国別の配属先情報等を随時公開中！

- ・外部公開はこちらから※現在改訂中※

<http://gweb.jica.go.jp/km/FSubject2301.nsf/> 共通 >

基礎知識 > 基本統計 >

- ・JICA関係者の方はこちらから：

<http://knowledge.jica.go.jp/> ナレッジサイトトップ >

分野課題 > 日本語教育 > 共通

### ▼JICA日本語教育ボランティアガイドブックを増刷しました。

世界各地の日本語教育分野で活躍するボランティア10人のインタビュー記事も掲載しています。日本語を通じてつながる世界を知ってください！送付希望の方は [jicajv-japanese@jica.go.jp](mailto:jicajv-japanese@jica.go.jp) までご連絡ください。

## 3. 日本語・日本語教育関連サイト、ニュース

### ▼海外日本語教育研究学会

<http://kg-nk.jimdo.com/>

学会誌→<http://kg-nk.jimdo.com/学会誌/創刊号-2015-12/>

▼全国日本語教師養成協議会

- ・第11回全養協日本語教師検定 試験日：2016年2月21日（日）  
詳しくはこちら→<http://www.zenyoukyou.jp/kentei.html>

▼IJEC国際日本語教育研修協会

- ・日本語教師採用合同日本語学校説明会  
大阪：1月28日（木）@AP梅田大阪  
詳しくはこちら→<http://www.ijec.or.jp/>

#### 4. 「技術顧問コラム」

今回は吉田和彦技術顧問です。

「授業を欠席する生徒たちとどう向き合うか？」

授業を休みがちな生徒に教師は何をしてあげられるのか？この幾とおりにも考えられる問題を、ここでは視点を変えて自分が日本語を学ぶ生徒になって考えてみたいと思います。生活や健康の面で困っておらず、生徒は日本語がより上手になることで幸せになりたいと思っている、というのが大前提です。

第一に、私は自分で語学書を読んだり練習問題をやったりすれば日本語が上手になるから授業に出なくてもいいと思うでしょう。そして、たいいてい、日本語について何かを学んでわかっていることと、その何かが使えることは同じだと勘違いしています。しかしそんな私も、わかりやすい図入りの泳法解説書を熟読しても泳げるようにはならないことに気づけば、日本語を使ってみななければ使えるようにはならないこともすぐ納得できます。また、話し相手である教師やクラスメートは、本や動画と違って、遅い自分を待ってはくれないし、聞き逃したことを繰り返してくれないし、予期せぬことさえ言ってきます。それができることが大事だと思えたら、それができる場所、教室に出かけていきたいかなることでしょう。

第二に、私にはときどき1回の授業より大事だと感じられる用事が発生します。そして、自然にそちらを授業よりも優先したくなります。しかし、毎回の授業にその回にしか経験できない何かがあり、それが別の週の授業では得られない何かだとしたら、自分の用事の方にもそんなかけがえのない何かがあるだろうかと考え直して、より大事な方を選び取ることでしよう。

第三に、私も人間なので、うっかり大切に本質的なことさえ忘れてしまうこともあります。しかしそれは、ちょっとヒントさえもらえたら、すぐにでも思い出します。自分にとって大事なことから。

第四に、……。あとは大丈夫です。日本語が好きですから……。

前号のコラムで言及されていた『海外日本語教育研究』創刊号が昨年末に出ました。学会のWebサイト (<http://kg-nk.jimdo.com/>) で無料配布しています。この学会誌には、特集や投稿論文のほかに、海外で教える教師が個人的に持った問題意識や実践してきた工夫・努力を取り上げて共有し、相互の関連付けや評価をする常設コーナー「ディスカッション」があります。（このユニットが開発した『かんたん！日本語会話 10 試用版』が紹介されています。）今号のトピックも、学校で日本語が教えられる限り繰り返し出てくる一般性・普遍性があり、この「ディスカッション」なども活用しつつ、今後も話し合いを続けたいものです。

